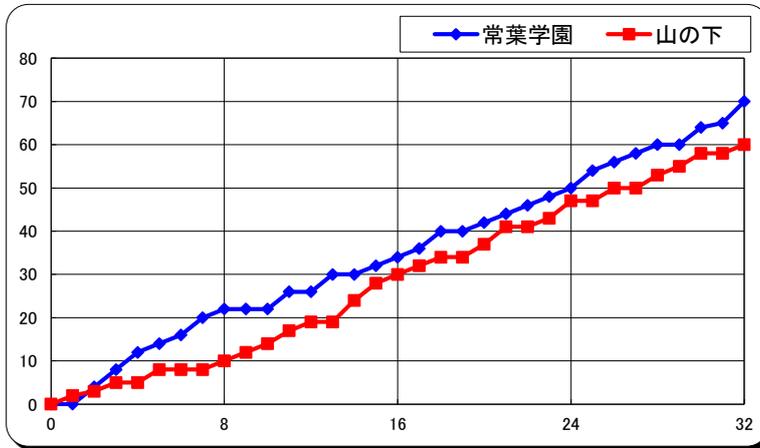




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	さいたま市記念総合体育館																	
日時	平成24年8月22日(水) 14:50																	
コート	Dコート	第5試合																
カテゴリー	女子	予選リーグ																
主審	小坂井 郁子 (神奈川県)																	
副審	山本 貴彦 (滋賀県)																	
Team A		Team B																
常葉学園	70	60	山の下															
(静岡県)			(新潟県)															
	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	22	1st	10	12	2nd	20	16	3rd	17	20	4th	13		OT			
22	1st	10																
12	2nd	20																
16	3rd	17																
20	4th	13																
	OT																	

【BOXスコア】

Team A		常葉学園						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	篠宮 杏奈	×	14	0	6	2	1	
5	見崎 南美	×	26	0	13	0	3	
6	柴 美佑	×	4	0	2	0	4	
7	大瀧 菜月	DNP	0	0	0	0	0	
8	小泉 友里	DNP	0	0	0	0	0	
9	齊藤 志帆	DNP	0	0	0	0	0	
10	松永 美樹	DNP	0	0	0	0	0	
11	花村 みなみ	DNP	0	0	0	0	0	
12	伊東 ひかる	×	17	1	7	0	1	
13	高橋 夏瑠	×	8	0	4	0	0	
14	木立 野斗	DNP	0	0	0	0	0	
15	造酒 祐香	DNP	0	0	0	0	0	
16	伊東 かおる	/	1	0	0	1	0	
17	渡邊 侑季	DNP	0	0	0	0	0	
18	野本 陽香	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小前 宏史						0	
コーチ	佐野 恵子						0	
合計			70	1	32	3	9	

Team B		山の下						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	須戸 友香	×	14	1	3	5	0	
5	志賀 伊吹	×	23	4	5	1	2	
6	小田 桃花	×	0	0	0	0	0	
7	高橋 美雅	DNP	0	0	0	0	0	
8	五十嵐 茉帆	×	11	0	4	3	3	
9	後藤 彩奈	/	6	0	3	0	3	
10	若月 聡美	/	2	0	1	0	1	
11	齊藤 里奈	×	4	0	2	0	0	
12	小林 桃佳	DNP	0	0	0	0	0	
13	貴船 亜純	DNP	0	0	0	0	0	
14	高澤 咲菜	DNP	0	0	0	0	0	
15	木村 胡桃	DNP	0	0	0	0	0	
16	神田 結菜	DNP	0	0	0	0	0	
17	金子 芽生	DNP	0	0	0	0	0	
18	神田 理菜	DNP	0	0	0	0	0	
監督	野村 薫						0	
コーチ	土屋 芽依						0	
合計			60	5	18	9	9	

【戦評】

埼玉栄に勝利し勢いに乗る常葉学園と、1敗で負けられない山の下との対戦。両チームマンツーマンDefでスタート。山の下#5のミドルシュートで先制するが、常葉#5がすぐに入れ返す。山の下はドライブ中心に攻めるがDefを崩せない。常葉はしつこいDefからの速攻が連続して決まり常葉22-10山の下で1Q終了。2Q、山の下はDefのプレッシャーを強め追い上げを図る。山の下#5のミドル、#4のステップインで得点するも、常葉#4の3連続ゴールで常葉30-19山の下となったところで山の下がタイムアウト。その後、山の下#11のミドル、#4の3Pで追撃する。常葉#4が得点するも、山の下の勢いは衰えず残り3秒で2点差まで詰めるが、常葉#5の速攻が決まり常葉34-30山の下で前半終了。3Q、山の下は2-3ゾーンDefに変化するも、常葉#5、#12、#6の得点で差を広げる。山の下は2-2-1ゾーンプレスで流れをつかみ#5の3P、#9のゴール下で3点差にするが、常葉#5、#12が踏ん張り一進一退となり常葉50-47山の下で3Q終了。4Q、常葉の#12、#5のミドルシュートで引き離そうとするが、山の下も#5の3P、ドライブで食い下がる。残り4分33秒、常葉58-52山の下で常葉のタイムアウト。常葉はオールコートであるが、山の下#8のゴール下、#5の3Pで2点差となる。常葉#13、#5の得点で6点差に戻したところで山の下タイムアウト。その後、山の下#5が決めるが、常葉#12の連続シュートが決まり、常葉70-60山の下で常葉学園がリーグ1位通過を決めた。

【戦評記入者】

浜田 雄史